

自己実現への道

第50回 ー第2章 「積極思考」をする者は山をも動かす(その6)ー

★意欲的な目標が人生を楽しむ★

消極的な考え方の人々が、どんな理屈をつけて目標樹立を回避するかご存知だろうか？

「目標？ そんなものは理想にすぎない。その場その場の出たとこ勝負で、成り行きに任せ逆らわないことです」

「それは無理です。関わり合いになって身動きできなくなるのはごめんです。目標を立てたりすると、それに縛られて大変です」「失敗するのはもうたくさんです。ことを荒立てて苦勞するよりも安全策が一番です」……

失敗とは、目標を達成できない、ということではない！！

あなたの現在及び未来に見え隠れしているいろんな**可能性を活かさないことが失敗なのだ。**

積極的な目標を立てよう……そうすれば高台に立って、展望することができるようになる。

- 意欲的な目標を立てれば、明日は今日よりも必ず前進する。たとえ一歩であっても前進することが重要だ。
- 人生が楽しくなる。「なぜそんなにうれしそうなのか」[私にはいつも取り組まねばならない目標があるからだ]
- 目標をもつと、人生に充実感を感じることができる。

目標を持って挑むとき、人生に生き甲斐が生まれるのだ！

目標を持っていれば、落ち込んでいる人を励ますことができる。

あなたは自分自身の偉大な価値に気づくであろう。

だから……目標を立てよう。そして、上を目指して前進しようではないか。。

★航路は自分で作図・立案する★

不可能と思える目標を達成するにはどうすべきか……まずは信念を固めよう。

地図を見つめ、航路を選び、必要なモノや時間について、具体的に作図・立案するのだ。

- 意思のあるところ、道が開ける。
- 善なる目標であれば、道は必ず示される。
- 信念を保っていれば、具体的な手段もおのずから整ってくる。

信念が高まれば、自然に良い願望が生まれ、その達成方法も示されるであろう。

あなたのすべきことは、まず、信念を高め、具体的に立案し、努力することである。

〈MIKO〉

☞ 参考文献：“Tough Minded Faith For Tender Hearted People” by Robert H Schuller より